

せやろがいおじさんと 沖縄で“部落問題”を語る！



川口泰司



谷川雅彦

5/29日 13:30
~15:30

那覇市ぶんかテンプス館 テンプスホール

(住所：那覇市牧志3-2-10 Tel.098-868-7810) 定員100名

せやろがいおじさん

無料

要申込
(先着順)

※会場中止の場合はオンライン配信で実施(5/20に研究所HPで案内)。
※配信方法は参加申込された方にメールにてご連絡いたします。

出演者

参加申込は二次元コードから↓

せやろがいおじさん (お笑い芸人、YouTuber)

谷川雅彦 (一般社団法人 部落解放・人権研究所代表理事)

川口泰司 (部落解放同盟山口県連合会書記長、部落解放・人権研究所理事)



6/9(木)~10(金)に那覇文化芸術劇場で「第47回部落解放・人権西日本夏期講座」を開催します。
全国から1500人が参加し、沖縄の復帰50年の課題と日本における差別と人権について学びます。
今回のプレイベントは、せやろがいおじさんと部落差別について基礎から学ぶトークイベントです。

部落問題（同和問題）って何？

私たちは生まれる場所を選ぶことはできないし、出身地や住んでいる場所で差別することは許されません。しかし、現代の日本では被差別部落の出身という理由だけで結婚を反対されたり、就職差別を受け不採用になったり、地域や職場など日常生活の場面で、部落出身を理由に侮辱や排除、偏見や差別発言などを受けている人たちがいます。このような差別を部落問題（同和問題）と言います。被差別部落は全国6000カ所、300万人いるといわれてきました。今回は日本固有の差別問題である部落差別について部落出身の当事者から基本的な歴史やこれまでの取り組み、体験談、現在起きている差別事件など、基礎的なことから分かりやすく、みなさんとともに考えていきたいと思ひます。

部落差別の歴史って？

江戸時代、身分制度のもとで「えた・ひにん」と呼ばれ差別された人たちは、明治になり平民と同じ身分になりました。しかし、明治政府は差別解消に取り組まなかったため部落の人たちに対する偏見や差別意識はなくなりませんでした。そればかりか被差別部落の人たちは、学校や地域、就職や結婚などでの差別と貧困に苦しめられてきました。1922（大正11）年3月3日、部落差別をなくそうと「全国水平社」が結成され、全国の部落の人たちが立ち上がりました。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と創立大会で読まれた「水平社宣言」は世界初の当事者による人権宣言と言われています。戦前・戦後を通して部落差別をなくすために世代を超えて、現在まで100年わたる粘り強い闘いがおこなわれてきました。その結果、国や企業、学校などでも部落差別をなくす取り組みがおこなわれてきました。国は地方公共団体とともに1969年から33年間、差別と貧困の悪循環を解消するため、同和対策事業を実施しました。部落の格差是正や住環境は改善されましたが、結婚差別や差別発言、ネットを悪用した新たな部落差別も深刻化しています。そのため2016年に「部落差別解消推進法」が成立・施行され、沖縄県でも地域の実情に応じた取り組みが求められています。

いまでも部落差別はあるの？

結婚差別、就職差別、土地差別（住宅購入などで部落を忌避）など利害が絡む場面において差別は顕在化しています。結婚相手が部落出身かどうか調べる差別身元調査も根強く、戸籍を不正取得する事件も起きています。2019年に法務省が「部落差別解消推進法」にもとづく実態調査を実施しました。全国の自治体への部落差別の相談件数は年間2000～2400件（2013-2017年）、相談内容で多いのは「差別表現」が毎年500～600件、「結婚・交際差別」が毎年50～100件でした。特に近年は情報化の進展にともなって部落差別に関する状況に変化が起きています。ネット上で部落（出身者）に対する偏見・差別情報が拡散され、部落問題に対して無知な人たちがフェイクを信じ、偏見や差別意識が助長・強化されている現実があります。また、全国の部落の地名リストや部落出身者の個人情報リストなどがネットに掲載される事件も起きています。実際に部落に行き、動画や画像をブログやSNS上で差別的に「晒す」などの差別扇動も起きています。

第47回部落解放・人権西日本夏期講座（ご案内）

2022年

6/9（木）～6/10（金） 那覇文化芸術劇場なは一と



- | | | |
|-----------------------------------|-------|------------------------|
| 「基地から漏れ出すPFAS 沖縄で放置される環境汚染」 | 島袋夏子 | 琉球朝日放送 制作プロデューサー |
| 「沖縄で考えるジェンダー平等」 | 矢野恵美 | 琉球大学 法務研究科教授 |
| 「沖縄戦の遺骨収集 「ガマフヤー」が伝えたいこと」 | 具志堅隆松 | 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 |
| 「尊厳ある医療環境を求めて～精神障害者、高齢者の社会的入院を問う」 | 長位鈴子 | おきなわ障害者人権センター共同代表 |
| 「人権教育・啓発の進め方～学校・地域を中心に」 | 森 実 | 大阪教育大学 名誉教授 |
| 「差別解消・被差別連帯の道のり～部落問題入門」 | 友永健三 | 部落解放・人権研究所 名誉理事 |